

令和2年度 公社事業概要・収支決算説明書

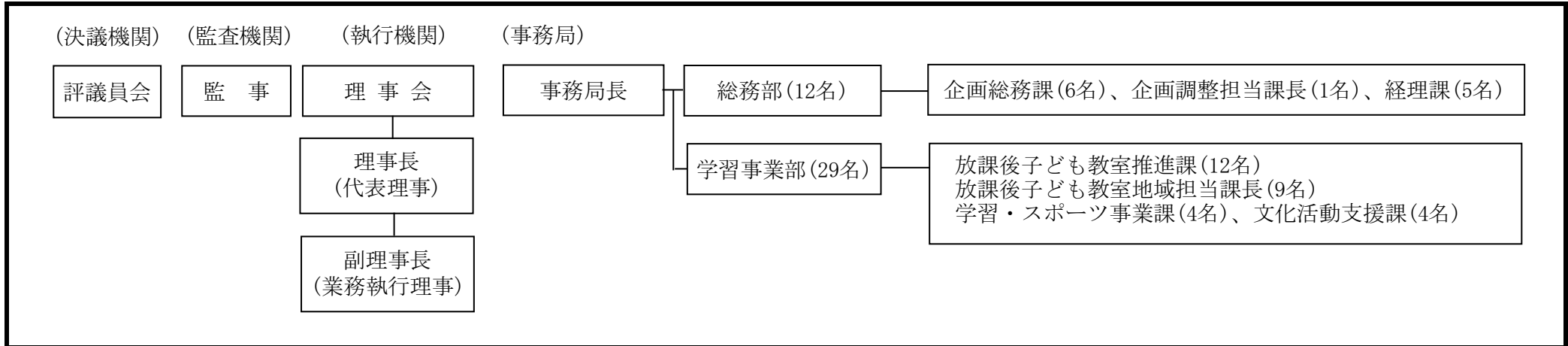
別冊資料1-1

1 概要説明

令和3年4月1日現在

名 称	公益財団法人足立区生涯学習振興公社	所 在 地	足立区千住五丁目13番5号
設 立 年 月 日 公 益 認 定	平成 5年 2月1日(平成12年4月1日名称変更) 平成21年10月1日公益財団法人	代 表 者	理 事 長 伊藤 良久
職員数(実員)	常勤26名(派遣6名 固有20名(再任用2名)) 短時間再任用3名 非常勤13名 合計42名	基 本 財 産	15 億 円

2 組織機構



3 令和2年度 経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行う。
- 2 公社がこれまで展開してきた区民との協働による事業や学びの成果を地域に還元する事業を進化させ、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進する。
- 3 「第二次中期事業計画」に基づき、事業の重点化と効率化を徹底し、区の施策との連携を深め、区民サービスの向上に努める。

【重点事項】

- 1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。
- 2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。
- 3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

4 公益財団法人足立区生涯学習振興公社 令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）事業報告 概要版

1 あだち放課後子ども教室事業

★(1) あだち放課後子ども教室の支援(区受託)

項目	R2	R元
のべ実施日数	6,239 日	10,560 日
のべ参加児童数	197,996 人	616,733 人
活動スタッフ人数	1,162 人	1,238 人
各教室への巡回	1,787 回	3,033 回
会議・打合せ・説明会等	707 回	759 回
児童のケガ・物損等に伴う保護者対応	378 件	1,098 件
スタッフのケガ・物損等に伴う保険対応	4 件	10 件

(2) 『放課後+One』（放課後子ども教室における体験プログラム）

- ・ 放課後キッズおりがみ教室 R2【2 回・48 人】 R元【216 回・3,069 人】
- ・ 放課後キッズ読書支援 R2【中止】 R元【 32 回・277 人】
- ・ 団体連携・体験プログラム R2【中止】 R元【106 回・2,697 人】
- ・ 公社企画・体験プログラム R2【9 種目】 R元【8 種目】

(3) 安全管理講習会(区受託) R2【49 回・664 人】 R元【69 回・1,037 人】

(4) 新任安全管理講習会(区受託) R2【3 回・36 人】 R元【2 回・43 人】

(5) 安全管理員研修会(区受託) R2【中止】 R元【4 回・264 人】

(6) 運営委員会(区受託) R2【書面開催】 R元【1 回・71 人】

(7) ブロック会議(区受託) R2【書面開催】 R元【13 回・141 人】

(8) 「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成(区受託)

R2【8,000 部】 R元【8,000 部】

(9) 「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成(区受託)

R2【8,000 部】 R元【8,000 部】

2 文化事業

(1) あだちアートリンクカフェ R2【2 回・39 人】 R元【4 回・66 人】

(2) あだちアートミートアップ(新規) R2【中止】 R元【 — 】

(3) 文化団体等支援 R2【2 回・332 人】 R元【6 回・3,337 人】

(4) イベントコーディネート事業 R2【2 件】 R元【5 件】

(5) 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(区受託)

R2【31 回・1,170 人】 R元【93 回・10,752 人】

(6) 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬) R2【中止】 R元【3 回】

★(7) コンサート in ミュージアム(拡充)

R2【中止】(2 施設の動画作成) R元【5 回・322 人】

(8) ドラムサークル in A-Festa 2020 R2【中止】 R元【中止】

(9) まちかどミュージック(新規) R2【中止】 R元【 — 】

(10) 小学校アウトリーチコンサート(拡充) R2【7 回・194 人】 R元【12 回・351 人】

★(11) 子どもの未来応援アウトリーチコンサート(拡充) R2【2 回・46 人】 R元【1 回・40 人】

3 生涯学習・スポーツ事業

(1) あだちこどもサポーター養成講座 R2【3 回・43 人】 R元【6 回・136 人】

(2) あだちこどもサポータースキルアップ講座 R2【4 回・79 人】 R元【4 回・88 人】

(3) あだちこどもサポーターフォロー講座 R2【中止】 R元【2 回・44 人】

(4) あだちこどもサポーター活動支援 R2【中止】 R元【251 回・839 人】

(5) あだちこどもサポーターネットワーク支援 R2【9 回・172 人】 R元【10 回・234 人】

(6) スポーツ指導者スキルアップ講習会(区受託)

高齢者対象 R2【4 回・85 人】 R元【4 回・114 人】

子ども対象 R2【4 回・64 人】 R元【2 回・42 人】

(7) 健康づくり・スポーツ活動支援講座 R2【2 回・90 人】 R元【1 回・30 人】

(8) 地域活動支援講座 R2【3 回・70 人】 R元【1 回・42 人】

(9) 地域学習コーディネート事業 R2【1 件】 R元【3 件】

(10) 読み語りキャラバン隊によるおはなし会 R2【2 回・43 人】 R元【5 回・445 人】

4 広報事業

(1) 公社ニュース「トキメキ」での自主事業等情報発信 R2【10 回】 R元【12 回】

★(2) 公社ホームページによる情報提供事業 R2【アクセス数 21,036 回】

R元【アクセス数 17,900 回】

5 正味財産増減計算書

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益 公益目的事業会計・法人会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
基本財産運用益				
基本財産受取利息 <1>	9,128,413	10,897,651	▲ 1,769,238	債券の満期償還による利息収入の減
基本財産運用益計 <2>	9,128,413	10,897,651	▲ 1,769,238	
特定資産運用益				
特定資産受取利息 <3>	748,605	726,378	22,227	
特定資産運用益計 <4>	748,605	726,378	22,227	
その他の固定資産運用益				
その他固定資産受取利息 <5>	60,493	60,000	493	
その他の固定資産運用益計 <6>	60,493	60,000	493	
事業収益				
自主事業収益 <7>	0	0	0	
受託事業収益 <8>	127,820,588	211,793,197	▲ 83,972,609	新型コロナウイルスの影響等で放課後子ども教室のべ実施日数が10,560日から6,239日に減ったことによる、区からの受託事業費の減
事業収益計 <9>	127,820,588	211,793,197	▲ 83,972,609	
受取補助金等収益				
受取区補助金 <10>	285,949,232	297,834,286	▲ 11,885,054	固有職員3名が定年退職で再任用職員になったことによる給与費等の減
受取補助金等収益計 <11>	285,949,232	297,834,286	▲ 11,885,054	
雑収益				
受取利息 <12>	57,448	200,000	▲ 142,552	低金利による利息収入の減
雑収益 <13>	35,673	146,082	▲ 110,409	
雑収益計 <14>	93,121	346,082	▲ 252,961	
経常収益計 <15>	423,800,452	521,657,594	▲ 97,857,142	

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
事業費				
役員報酬 <16>	3,741,605	3,258,397	483,208	理事長報酬2カ月分の増
給料手当 <17>	151,828,330	165,538,591	▲ 13,710,261	固有職員3名が定年退職で再任用職員になったことによる減
福利厚生費 <18>	37,461,670	39,783,115	▲ 2,321,445	固有職員3名が再任用職員になったことによる事業主負担金の減
退職給付費用 <19>	16,278,294	16,664,240	▲ 385,946	固有職員3名の定年退職に伴う減
賃金 <20>	32,130,643	26,454,185	5,676,458	非常勤職員賞与支給に伴う増
会議費 <21>	26,942	52,090	▲ 25,148	外部講師との打ち合わせが減ったことによる減
旅費交通費 <22>	128,110	250,628	▲ 122,518	放課後子ども教室の巡回が減ったことによる減
通信運搬費 <23>	811,561	1,144,348	▲ 332,787	新型コロナウイルスの影響等で事業が減ったことによる減
什器備品費 <24>	108,900	98,340	10,560	放課後子ども教室物置買い替えによる増
消耗品費 <25>	7,326,079	6,495,966	830,113	放課後子ども教室運営に係る感染症対策物品の購入が増えたことによる増
修繕費 <26>	308,066	141,990	166,076	楽器修繕の増
印刷製本費 <27>	734,580	165,440	569,140	放課後子ども教室運営マニュアル等印刷物の増
賃借料 <28>	790,676	634,043	156,633	動画制作による施設使用料の増
保険料 <29>	1,512,060	1,657,910	▲ 145,850	放課後子ども教室運営スタッフ賠償責任及び傷害保険の契約差金による減
諸謝金 <30>	110,584,188	202,615,490	▲ 92,031,302	新型コロナウイルスの影響等で放課後子ども教室のべ実施日数が10,560日から6,239日に減ったことによる、見守りスタッフへの謝金の減
委託費 <31>	10,137,760	9,283,220	854,540	放課後子ども教室安全管理講習会委託費の増
負担金 <32>	115,700	0	115,700	実務研修参加受講料の増
交付金 <33>	8,380,364	5,463,263	2,917,101	放課後子ども教室各実行委員会管理の感染症対策費分の増
(公益) 事業費計 <34>	382,405,528	479,701,256	▲ 97,295,728	

(2) 経常費用 法人会計

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減	内訳・増減理由
管理費				
役員報酬 <35>	384,064	847,271	▲ 463,207	理事会・評議員会未開催による報酬の減
給料手当 <36>	15,015,765	16,372,300	▲ 1,356,535	固有職員3名が定年退職で再任用職員になったことによる減
福利厚生費 <37>	4,440,368	4,686,790	▲ 246,422	固有職員3名が再任用職員になったことによる事業主負担金の減
退職給付費用 <38>	1,564,092	1,587,980	▲ 23,888	固有職員3名の定年退職に伴う減
賃金 <39>	3,177,781	2,616,357	561,424	非常勤職員賞与支給に伴う増
会議費 <40>	0	1,840	▲ 1,840	
旅費交通費 <41>	42,604	50,123	▲ 7,519	
通信運搬費 <42>	2,183,224	1,938,241	244,983	電話代の増、Wi-Fi通信料の増
什器備品費 <43>	183,480	67,980	115,500	タブレット購入による増
消耗品費 <44>	866,351	943,827	▲ 77,476	消耗品購入の減
修繕費 <45>	13,100	111,608	▲ 98,508	公用車修繕の減
光熱水費 <46>	2,064,706	2,504,798	▲ 440,092	水道・電気代の減
賃借料 <47>	2,456,562	2,099,712	356,850	システムソフトウェア更新料による増
減価償却費 <48>	5,167,152	5,167,152	0	
保険料 <49>	243,340	243,600	▲ 260	
租税公課 <50>	33,005	30,005	3,000	収入印紙購入の増
諸謝金 <51>	1,385,500	1,404,500	▲ 19,000	個人情報保護委員会未開催による謝礼の減
委託費 <52>	5,590,839	5,528,307	62,532	3密防止のため、事務所内レイアウト変更による増
負担金 <53>	191,400	219,440	▲ 28,040	花火大会中止による広告料等の減
交際費 <54>	0	17,000	▲ 17,000	
燃料費 <55>	125,852	172,677	▲ 46,825	公用車使用回数の減
管理費計 <56>	45,129,185	46,611,508	▲ 1,482,323	

I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部 公益目的事業会計・法人会計

(1) 経常外収益

(2) 経常外費用

単位：円

勘定科目	当年度	前年度	増減
(1) 経常外収益 経常外収益計 <57>		0	0
(2) 経常外費用 経常外費用計 <58>		0	0
当期経常外増減額 <59>		0	0

一般正味財産増減の部	当年度	前年度	増減
経常収益計 <60>	423,800,452	521,657,594	▲ 97,857,142
経常費用計 <61>	427,534,713	526,312,764	▲ 98,778,051
経常外収益計 <62>	0	0	0
経常外費用計 <63>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <64>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
法人税、住民税及び事業税 <65>	0	0	0
当期一般正味財産増減額 <66>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
一般正味財産期首残高 <67>	258,523,897	263,179,067	▲ 4,655,170
一般正味財産期末残高 <68>	254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261

II 指定正味財産増減の部

指定正味財産増減の部	当年度	前年度	増減
当期指定正味財産増減額 <69>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <70>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産期末残高 <71>	1,500,000,000	1,500,000,000	0

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高 <72>	1,754,789,636	1,758,523,897	▲ 3,734,261
---------------	---------------	---------------	-------------

令和2年度

事業報告書



コンサート in ミュージアム わたなべ音楽堂 <ベルネザール>



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

足立区では基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」としている。また、足立区教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業を協創による事業に進化させることに取り組むとともに、学びの成果を地域に還元する事業を展開することに努めてきた。今後とも、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」を進めていく。

特に、子どもたちが地域の大人と出会い、多様な体験ができる場である「あだち放課後子ども教室」は、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。

また、学習・スポーツ・文化事業については、区民の主体的な活動を促すことを目的として、生涯学習を担う人材の育成と地域における自主的な活動を支援する事業を中心に展開し、活力ある地域社会の形成に寄与していく。

令和2年度の事業計画及び予算編成にあたっては、今後の公社職員の減員と自主財源の減少を見据え、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区の施策との連携を深め、事業の実施効果を上げていく。また、本年度は平成27年度に策定した「公社中期事業計画」の最終年であり、令和3年度に向けて、新たな「中期事業計画」を作成することになる。

重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

(1) 全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

(2) 放課後子ども教室体験プログラムの充実

「新・足立区放課後子ども総合プラン」を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化を進める。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

(1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

(2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場に還元する様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

(3) 文化・芸術に触れる機会の充実

文化面では、“アウトリーチ”をキーワードに、区の文化・読書・スポーツの三計画の共通理念に基づき、始まりとなる「楽しさに気づく」ことを重点として、区民が文化・芸術を身近なところで気軽に楽しめる機会を提供する。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 伊藤 良久

職 員 数 42名（定数）

常勤26名（派遣6名、固有20名（再任用2名））、短時間再任用3名、非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <https://www.kousya.jp/>

組織図

（決議機関）

評議員会

（監査機関）

監 事

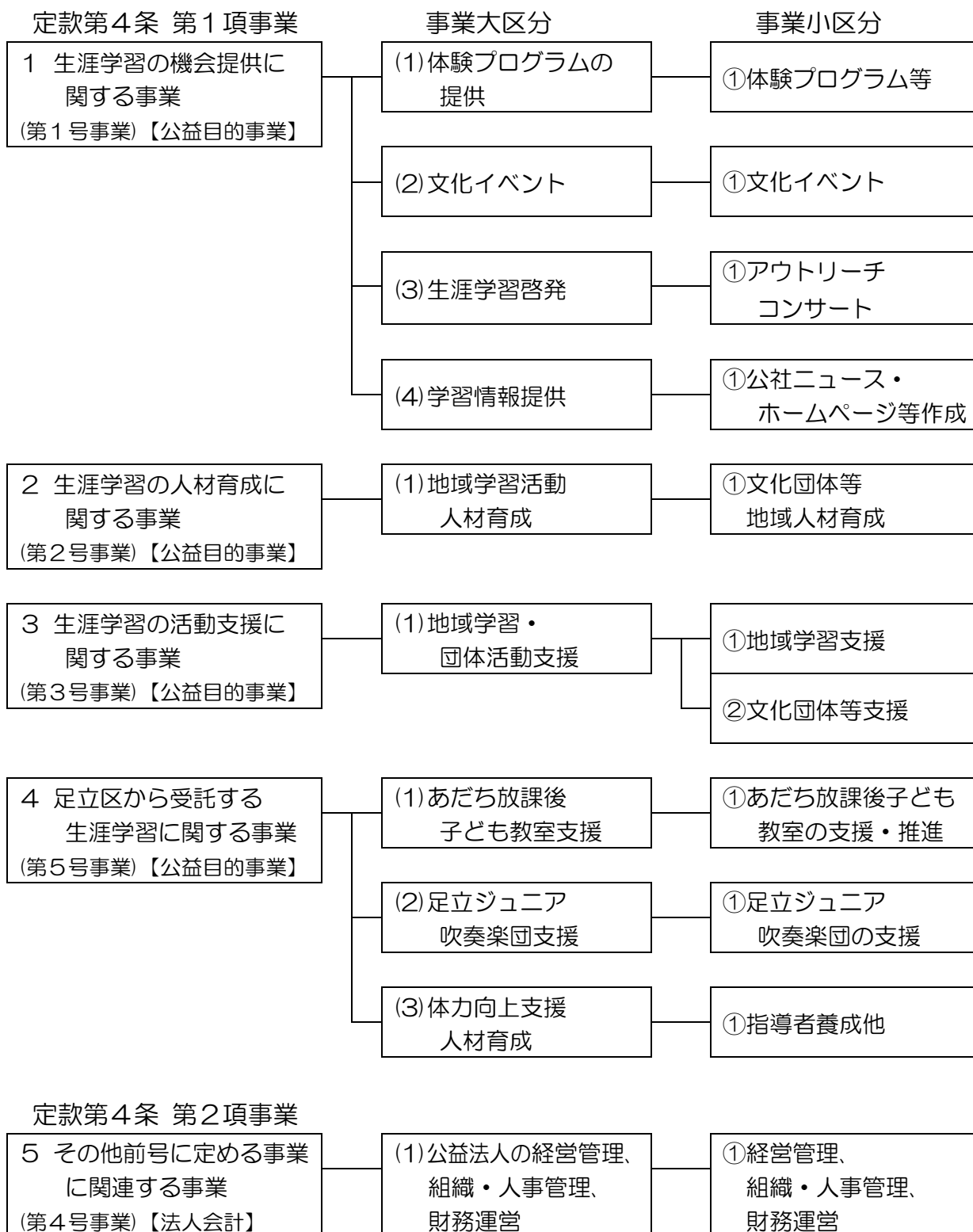
（執行機関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
（代表理事） （業務執行理事）

（事 務 局）

事務局長 $\left\{ \begin{array}{l} \text{総務部} \quad \text{企画総務課、企画調整担当課長、経理課} \\ \text{学習事業部} \quad \text{放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長} \\ \quad \quad \quad \text{学習・スポーツ事業課、文化活動支援課} \end{array} \right.$

令和2年度 定款事業別体系図



目 次

1 あだち放課後子ども教室事業

- 【1】 あだち放課後子ども教室の支援〈区受託〉…………… 8-10
- 【2】 『放課後+One』(放課後子ども教室における体験プログラム) …… 11-13
 - (ア)地域人材活用・体験プログラム
 - (イ)団体連携・体験プログラム
 - (ウ)公社企画・体験プログラム
- 【3】 安全管理講習会(応急手当実技)〈区受託〉…………… 14
- 【4】 新任安全管理講習会(応急手当実技)〈区受託〉…………… 14
- 【5】 安全管理員研修会〈区受託〉…………… 15
- 【6】 運営委員会〈区受託〉…………… 15
- 【7】 ブロック会議〈区受託〉…………… 16
- 【8】 「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成〈区受託〉…………… 16
- 【9】 「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成〈区受託〉…………… 17

2 文化事業

- 【1】 あだちアートリンクカフェ…………… 18
- 【2】 あだちアートミートアップ…………… 18
- 【3】 文化団体等支援…………… 19
- 【4】 イベントコーディネーター事業…………… 19
- 【5】 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(通年)〈区受託〉…………… 20-21
- 【6】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)…………… 21
- 【7】 コンサート in ミュージアム…………… 22
- 【8】 ドラムサークル in A-Festa 2020…………… 22
- 【9】 まちかどミュージック…………… 23
- 【10】 小学校アウトリーチコンサート…………… 23
- 【11】 子どもの未来応援アウトリーチコンサート…………… 24

3 生涯学習・スポーツ事業

【1】	あだちこどもサポーター養成講座	25
【2】	あだちこどもサポータースキルアップ講座	26
【3】	あだちこどもサポーターフォロー講座	27
【4】	あだちこどもサポーター活動支援	27
【5】	あだちこどもサポーターネットワーク支援	28
【6】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング～(高齢者)	29
【7】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング～(子ども)	30
【8】	健康づくり・スポーツ活動支援講座	31
【9】	地域活動支援講座	32
【10】	地域学習コーディネート事業	32
【11】	読み語りキャラバン隊によるおはなし会	33

4 広報事業

【1】	公社ニュース「トキメキ」での自主事業等情報発信	34
【2】	公社ホームページによる情報提供事業	34

5 その他

【1】	公益目的事業に対する人件費	35
【2】	公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営	35

《目標達成度》

◎ … 90%以上

○ … 70~90%未満

△ … 70%未満

1 あだち放課後子ども教室事業

あだち放課後子ども教室事業	予算現額	251,540,000 円
	執行額	126,165,040 円

【1】あだち放課後子ども教室の支援 《区受託》 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予算現額	248,886,000 円		
	執行額	124,026,153 円		
	年間予定	実施結果	達成	
	通 年	—	—	
概要	各小学校の放課後子ども教室とその運営にあたる実行委員会への支援			
目的	① 各小学校の放課後子ども教室及び実行委員会の安定運営を継続する。 ② 体験・交流活動の充実を図る。			
実施結果	1 放課後子ども教室の開催状況 新型コロナウイルス感染症拡大防止による区内小学校臨時休校のため、令和2年3月2日から5月31日まで、放課後子ども教室は全面休止となった。 6月1日の小学校再開に伴い、順次再開したが、令和3年1月～3月の緊急事態宣言により、再度休止した放課後子ども教室もあった。(年間を通じての未再開校は2校)			
	(1) 開催状況 (69校) 令和3年3月末現在			
	令和2年 6月	令和2年 11月	令和3年 1月～3月	令和3年 3月
	小学校再開		緊急事態宣言	2年度末
開催	15校	66校	31校	44校
休止	54校	3校	38校	25校
	(2) 活動内容の変更 感染予防策として、三密(密閉・密集・密接)を避けて活動を行うため、対象学年、活動場所、活動内容等を従来と変更して実施している。 ※令和3年3月末現在の再開校44校中 対象学年:全学年36校 1年生未実施7校 (うち1校は2年生も未実施) 活動場所:校庭のみ5校 校庭・屋内施設(専用ルーム・体育館・図書室等)39校 活動日の学年分け:35校			
	2 放課後子ども教室運営の支援 (1) 各実行委員会への支援 実行委員会等の実施調整、スタッフの募集、スタッフへの謝礼支払い代行、新任スタッフ等への運営マニュアルの配付・説明、参加児童の登録事務の支援など。			

(2) 各放課後子ども教室の日常運営への支援

感染症対策への対応助言・物品の配付、開催時の巡回、事故・トラブル対応、学校との連絡調整、スタッフ会議への出席、避難訓練の実施、運営課題への助言、運営に必要な事務の支援など。

(3) 一時休止後の再開に向けての支援

令和3年1月～2月の緊急事態宣言を受け、開催していた放課後子ども教室のうち33校が実行委員会の判断により、一時休止となった。再開に向けて、学校施設の利用状況を確認のうえ、実行委員会と運営方法について協議した。

(4) スタッフ確保への支援

(ア) スタッフ活動説明会の開催

対 象	実施日・会場	参加者等
一般区民	5/29(金) 午後 生涯学習センター	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	8/27(木) 午後 生涯学習センター	出席 10 人(申込 12 人) スタッフ登録者 8 人
	10/27(火) 午後 勤労福祉会館	出席 11 人(申込 16 人) スタッフ登録者 8 人

(イ) スタッフ募集案内の作成・配布(P.17 参照)

(ウ) 各種広報媒体等でのスタッフ募集

区・公社ホームページ、広報紙「トキメキ」、生涯学習センターでのパネル掲示

(5) スタッフ研修の実施

(ア) 安全管理講習会(P.14 参照)

(イ) 安全管理員研修会(P.15 参照)

(6) 事業の周知

広報紙「公社ニューストキメキ」、区・公社ホームページ、利用案内(P.16 参照)等

(7) アンケート調査の実施

参加児童の活動状況、満足度の把握を目的として11月～12月に実施した。

開催中の放課後子ども教室に調査希望の有無を確認し、実施の意向のあった46校で行った。(令和元年度は66校) 回収枚数 2,855 枚(令和元年度は 4,643 枚)

実行委員会に個別の集計結果を報告し、児童の活動に関する要望については、遊具の購入等へ反映することとした。全体の結果については、公社 HP に掲載した。

3 「足立区放課後子ども総合プラン」の実現

(1) 学童保育室との連携

学童保育室の指導員と活動時の留意事項の情報共有を随時行った。

(2) 体験プログラムの再開調整 (P.11～13 参照)

各実行委員会が実施する体験プログラムの支援や公社の提案による体験プログラムの導入を 3 つの手法(「地域人材活用」「団体連携」「公社企画」)にて実施に向け、日程調整もすすめていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となった。

放課後子ども教室での児童の活動内容が、集団遊びから一人遊び中心となり、密を避けるため室内での活動も前年より減少した中で、一人遊びに適したものの、スタッフ

実施
結果

の介在なしに児童が自主的に体験できるようなプログラムを提案した。

<実績>

項目	令和2年度	令和元年度
開催期間	令和2年6月 ～令和3年3月 (休校により4月～5月 休止)	平成31年4月 ～令和2年2月 (休校により3月休止)
のべ実施日数	6,239日	10,560日
のべ参加児童数	197,996人	616,733人
活動スタッフ人数	1,162人	1,238人
各教室への巡回	1,787回	3,033回
会議・打合せ・説明会等	707回	759回

実施
結果

<ケガ・物損等の対応>

項目	令和2年度	令和元年度
児童のケガ・物損等に伴う 保護者対応	ケガ 378件 内訳 通院あり 54件 うち入院 1件 物損 4件	ケガ 1,098件 内訳 通院あり 176件 うち入院 2件 物損 5件
スタッフのケガ・物損等に 伴う保険対応	ケガ 4件 内訳 通院あり 4件 うち入院 1件 物損 0件	ケガ 10件 内訳 通院あり 10件 うち入院 0件 物損 0件

事業評価
と課題へ
の対応

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止による小学校の休校および緊急事態宣言に伴い、開設以来、前例のない長期間の放課後子ども教室事業の休止となった。各放課後子ども教室の再開にあたっては実行委員会、学校と感染防止策を講じた運営方法について話し合いを重ね、令和3年度に向けて68校の再開の目途をたてることができた。
- 2 感染症の拡大状況に配慮しながら、コロナ禍以前の実施内容（全学年・週5日・複数会場での活動）に戻していくため、引き続き、公社から各実行委員会へ他校の実施状況や実施に対する工夫などの情報提供をし、運営へのサポートを行う。

【2】『放課後 + One』 <small>プラスワン</small> (放課後子ども教室における体験プログラム) 定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等	予算現額		2,654,000 円			
	執行額		2,138,887 円			
(ア) 地域人材活用・体験プログラム	年間予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	232 回	3,080 人	2 回	48 人	△	
概要	公社が育成した人材を紹介し、実行委員会が実施するプログラム					
目的	① おりがみ教室では想像力の醸成と集中力の向上、読書支援では本への興味関心を高める。 ② 子どもに関わる地域人材を増やすことにより、子どもの体験・交流活動を促進する。 ③ 地域人材を子どもの活動支援者として活躍してもらい機会を創る。					
実施結果	放課後キッズおりがみ教室 (予定 24 校・実績 2 校)	192 回	2,880 人	2 回	48 人	—
	放課後キッズ読書支援 (予定 5 校・実績 0 校)	40 回	200 人	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止		
事業評価と課題への対応	1 今年度は、コロナ禍のため、おりがみ教室、読書支援を定期的に行っている放課後子ども教室では一度も開催出来なかった。一方、「子どもと遊ぶおりがみ教室第 13 期」の実習で、渚江第一小と千寿小の 2 校で、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、子どもたちに体験プログラムとして「おりがみ教室」を開催した。 2 『放課後+One』を推進するため、引き続き担い手となるサポーターの発掘・育成を行い、継続的な活動支援を行いながら、体験プログラムの拡充につなげていく。					



放課後子ども教室の感染症対策（手洗い）

		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
(イ) 団体連携・体験プログラム		106 回	2,310 人	中 止	—
概要	公社が企業等の団体と連携し、実施するプログラム				
目的	① 児童の体験・交流活動を充実させる。 ② 読書推進や体力向上などの課題解決につなげる一助とする。				
実施 結果	(1) フラッグ鬼ごっこ	予定 2 校	20 回	500 人	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
	(2) スポーツスタッキング教室	予定 8 校	40 回	800 人	
	(3) ミニコンサート&楽器体験	予定 8 校	8 回	240 人	
	(4) どうぶつしょうぎ教室	予定 5 校	11 回	220 人	
	(5) 工作「ハンズヒントクラブ」	予定 1 校	1 回	30 人	
	(6) 将棋教室	予定 1 校	8 回	160 人	
	(7) 植物クラフト	予定 8 校	8 回	160 人	
	(8) ビブリオバトル	予定 3 校	4 回	60 人	
	(9) 英語遊び&歌体操ダンス	予定 2 校	4 回	80 人	
	(10) プログラミング体験教室	予定 2 校	2 回	60 人	
事業評価 と課題へ の対応	1 体験プログラム実施に対する教育委員会の方針および学校施設利用制限の緩和状況に 合わせ、連携先の現況確認を行うなど、開催に向けての調整を行ったが緊急事態宣言を 受け中止とした。 2 令和3年度は、教育委員会による体験プログラム再開の決定に合わせ、密にならない方 法を工夫する等、感染予防策を講じたうえで実施に向けて取り組む。				

(1) フラッグ鬼ごっこ:スポーツ推進委員会が普及している鬼ごっこ型の宝取りゲーム

(2) スポーツスタッキング:数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技

(4) どうぶつしょうぎ:3×4 マスの盤で動物の絵が描かれた駒で対戦。将棋のルールを簡略化したゲーム

(7) 植物クラフト:押し花のカードや小枝のストラップ作り等、植物に親しむ工作

(8) ビブリオバトル:数人の発表者が本を紹介、一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム

(10) プログラミング体験教室:カードゲームやタブレット端末を用い、コンピュータが使われている身近なもの
の仕組みを理解する教室

(ウ) 公社企画・体験プログラム		年間予定回数/目標数	実施結果	達成
		9 種目	9 種目	◎
概要	外部指導者ではなく、実施可能なプログラムを公社が実行委員会に提案し、スタッフの声掛けにより行うプログラム			
目的	① 児童の体験・交流活動を充実させる。 ② 読書推進や体力向上などの課題解決につなげる一助とする。			
実施結果	放課後子ども教室での児童の活動内容が、密を避けるため集団遊びから一人遊びが中心となり、室内での活動が前年より減少した状況の中で、一人遊びに適した内容、スタッフの支援なしに取り組むことができるようなプログラムを公社から提案し実施した。 実施種目 (1) ラッキーパズル、(2) 読書の通帳、(3) 大型図書等、(4) ちゃれんじ!知る見る・ザ・ワールド、(5) 遊びながら学べるプリント、(6) 投げる遊び、(7) ケンパ遊び(ケンステップ)、(8) キックベースボール、(9) ボードゲーム			
事業評価と課題への対応	1 体験プログラムを実施するにあたり多くの制限がある中で、「密にならず」「スタッフの支援なく」実施できるプログラム提案を行うことができた。 2 令和3年度は、教育委員会による体験プログラム再開の決定に合わせ、引き続き、密にならない方法で実施可能なプログラムを、各放課後子ども教室へ提案する。			

- (1) ラッキーパズル:数種類の木片を組み合わせて様々な形を作る木製のパズルゲーム
- (2) 読書の通帳:読んだ本のタイトルを記入する通帳型のカード
- (3) 大型図書等:新聞紙大の絵本や、パネルシアター等、子どもの目を惹く図書資料を貸し出す取組み
- (4) ちゃれんじ!知る見る・ザ・ワールド:世界の国々へ関心を持つきっかけとなるような書籍や地球儀等を用いて「チャレンジポケット」や「国旗しおり」、「万国旗」を作成する取組み
- (5) 遊びながら学べるプリント:朝日新聞社による工作やクイズ等が掲載されたプリントの提供
- (6) 投げる遊び:たまねぎ型のボールを投げたり、的当てなど、投げる力を養う運動あそび全般
- (7) ケンパ遊び(ケンステップ):校庭や体育館の床に置いて、連続跳び等ができるリング型の遊具
- (8) キックベースボール:バットの替りに足でボールを蹴り、手で受ける野球型ゲーム
- (9) ボードゲーム:カードやタイルなどを使い、脳トレや対戦型など、室内で楽しむテーブルゲーム



(5) 体験プログラム 遊びながら学べるプリント



(9) 体験プログラム ボードゲーム

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】を含む

【3】安全管理講習会(応急手当実技)		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
<<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		69回	1,035人	49回	664人	○
概要	スタッフが、事故や怪我・熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会(毎年全校で実施)					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。					
実施結果	1 4～5月の小学校休校による活動休止等のため、例年より開始が遅れ、7月～3月に、49校の放課後子ども教室で実施した。 2 未実施校の20校中15校は日程調整まで終了していたが、令和3年1月～2月の緊急事態宣言により放課後子ども教室の活動が休止になり、安全管理講習会が開催できなかった。 委託先:NPO法人JAEA(ジャイア)(日本災害救護推進協議会)					
事業評価と課題への対応	1 安全管理講習会を実施できた実行委員会からは、見守り活動に必要な応急手当等の留意点を確認することができ、有効であったとの声が多くあった。 2 令和3年度も引き続き、感染予防策を講じ、開催できるよう調整する。					

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】を含む

【4】新任安全管理講習会(応急手当実技)		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
<<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		3回	—	3回	36人	◎
概要	新規に登録したスタッフが事故やケガ、熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。					
実施結果	8月20日(木) 午前	3回	—	3回	14人	—
	12月24日(木) 午後				9人	
	2月26日(金) 午前				13人	
会場:生涯学習センター 委託先:NPO法人JAEA(ジャイア)(日本災害救護推進協議会)						
事業評価と課題への対応	1 コロナ禍ではあったが、予定通り開催でき、新任スタッフは、緊急時の対応、応急手当の留意点を学んだ。 2 令和3年度も引き続き、感染予防策を講じ、開催できるよう調整する。					

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】に含む

【5】安全管理員研修会 《区受託》		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
定款第4条第1項第5号					
(1)あだち放課後子ども教室支援		5回	300人	中止	—
①あだち放課後子ども教室の支援・推進					
概要	スタッフが見守り業務に役立つ専門的知識と技術を学ぶ研修会				
目的	児童への接し方等に関する知識を得て、スタッフとしての対応能力を高める。				
実施結果	1月25日(月) 午前	1回	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	「子どもとの接し方」～子どもに「届く」接し方、話し方のコツ～ 藤後 悦子氏 (東京未来大学教授) 生涯学習センター				
実施結果	2月10日(水) 午前	1回	—		
	「新型コロナウイルス感染症対策と子どものこころへの支援」 関口 久恵氏 (足立区衛生部) 生涯学習センター				
事業評価と課題への対応	1 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に合わせ、実施内容と感染予防策を講じ、開催に向けて調整を行い、緊急事態宣言を受け中止とした。 2 令和3年度は、研修の実施方法として、集合型のみではなく映像等の資料の活用も検討していく。				

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】に含む

【6】運営委員会 《区受託》		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
定款第4条第1項第5号					
(1)あだち放課後子ども教室支援		1回	—	書面開催	◎
①あだち放課後子ども教室の支援・推進					
概要	全放課後子ども教室及び関係団体の代表により組織され、放課後子ども教室事業について、検討・調整を行う会議				
目的	各事項の検討を通して、事業趣旨や必要性に対する理解を深めるとともに、新しい課題への共通認識を持ち、日常運営での取り組みに反映する。				
実施結果	1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区と協議した結果、書面開催とした。各放課後子ども教室が、会場や、対象学年等を変更し、密にならない運営内容で開催した状況を資料にて情報共有した。 2 開設10年を越えた実行委員会への感謝状については、教育委員会より、対象の放課後子ども教室に直接贈呈した。				
事業評価と課題への対応	1 書面開催となったが、各放課後子ども教室の現状が確認でき参考になったとの実行委員会からの意見が多くあった。 2 令和3年度については、内容、開催時期について区と協議する。				

当事業の予算及び執行額はP8の【1】に含む

【7】ブロック会議 <区受託> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		年間予定回数/目標人数	実施結果	達成
		13回	—	書面開催 ◎
概要	小学校13ブロックごとに、実行委員会と学校の代表者が、情報交換や課題の協議・調整を行い、運営委員会の円滑な実施を補完する会議			
目的	実行委員会の代表者が、他校の実施状況や、事業の方向性、現状課題に関連する情報発信を受けて、より充実した日常運営での取り組みに反映する。			
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区と協議した結果、書面開催とした。コロナ禍のもと、各放課後子ども教室が、会場や、対象学年等を変更し、密にならない運営内容で開催した状況を資料にて情報共有した。			
事業評価と課題への対応	1 書面開催としたが、各放課後子ども教室の現状が確認でき、参考になったとの実行委員会からの意見が多くあった。 2 令和3年度については、内容、開催時期について区と協議する。			

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】に含む

【8】「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成 <区受託> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		年間予定回数	実施結果	達成
		随時	8,000部	—
概要	放課後子ども教室の事業内容を、保護者及び関係者へ配付する冊子を作成する。			
目的	① 放課後子ども教室の活動内容を広く周知し、参加を促進する。 ② 保護者へ事業内容及び参加時のルール等の理解を促し、円滑な教室運営につなげる。 ③ 実行委員・スタッフ、学校関係者等に運営に関する共通理解を図り、安定的な教室運営につなげる。			
実施結果	新1年生の保護者、新規の実行委員、スタッフ、学校関係者に配付するために冊子を8,000部作成した。			
事業評価と課題への対応	1 新型コロナウイルス感染症予防に配慮し開催していることを追記し、修正した。 2 利用案内の内容は全校共通の事業概要であるので、各放課後子ども教室の詳細については、別途、学校別の登録案内を作成し、利用案内とあわせて配付し情報を補完していく。			

※当事業の予算及び執行額はP8の【1】に含む

【9】「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成 <区受託> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	年間予定回数	実施結果	達成
	随時	8,000部	—
概要	放課後子ども教室及びスタッフの活動内容や体験談等を掲載し、スタッフ募集の際に配布するパンフレット		
目的	スタッフ活動の魅力を発信し、スタッフの安定確保を図る。		
実施結果	生涯学習センター、住区センター等公共施設への配架、スタッフ活動説明会、区内の大学、各小学校の保護者、放課後子ども教室実行委員、スタッフ等を通じて地域に随時配布し、スタッフ募集に活用するために作成した。		
事業評価と課題への対応	1 見守り活動の具体的内容と、幅広い年代、立場のスタッフに、スタッフ自身のやりがいなどのコメントが記載されているため、活動が身近に感じられ、地域への声かけの際に活用できるとの声を実行委員などから頂いている。また、スタッフ活動説明会にて活用し、活動内容を整理して説明するための一助となっている。 2 令和3年度は、スタッフ募集を強化するため、PR動画の作成に取り組む。		



放課後子ども教室 受付の様子

2 文化事業

文化事業	予算現額	10,829,000 円
	執行額	6,120,013 円

【1】あだちアートリンクカフェ		予算現額	221,000 円			
定款第4条第1項第2号		執行額	25,249 円			
(1)地域学習活動人材育成		年間予定回数/目標人数	実施結果		達成	
①文化団体等地域人材育成		4回	80人	2回	39人 △	
概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会					
目的	① 情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 ② 出会いをきっかけとして、参加者による自主的な活動を創出する。 ③ 交流会を実施することにより新たな区民還元となる文化事業につなげる。					
実施結果	2年4月24日(金)夜間	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	3年1月29日(金)夜間	1回	20人	—		
	第80回 「コロナ禍でライブ配信をやってみた」 8月28日(金)夜間 生涯学習センター ゲストスピーカー:皆川 正彦氏(北千住プロジェクト レーベルオーナー兼ディレクター&プロデューサー)	1回	20人	1回	25人	—
	第81回 「音楽でみんなに元気をとどけるために…」 3月26日(金)夜間 生涯学習センター ゲストスピーカー:根岸 伊智郎氏(足立ジュニア吹奏楽団指揮者、てづくりカンパニー主宰、ホルン奏者)	1回	20人	1回	14人	—
	事業評価と課題への対応	1 コロナ禍において文化芸術活動にかかる制約が多い中、動画配信の事例や各種助成事業の内容などのゲストスピーカーからの講話の後、参加者間の情報交換を行い、活動を継続するための取り組み方法などを共有した。また、終了後に新たに出会った参加者が交流し、互いの活動について話し合う場面が多く見られた。 2 今後、参加者からのゲストスピーカーの紹介や、テーマに関するリクエストなどを広く募り、関心の高い内容のものを実施する。				

※当事業の予算及び執行額はP18の【1】に含む

【2】あだちアートミートアップ		年間予定回数/目標人数	実施結果	達成
定款第4条第1項第2号		1回	100人	中止
(1)地域学習活動人材育成				
①文化団体等地域人材育成				
概要	アートに関わる方々と企業・団体等をつなぐ交流会			
目的	アーティストと企業・団体等の交流による出会いをきっかけとして、地域の文化芸術活動の創出につながり、その結果としての区民還元を図る。			
実施結果	シアター1010 ギャラリーで予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。			

【3】文化団体等支援		予算現額		—		円	
定款第4条第1項第3号		執行額		—		円	
(1)地域学習・団体活動支援		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成	
②文化団体等支援		6回		—		2回 332人 —	
概要	自主的な文化活動を行う区民、団体に対し、助言や活動の場の提供などの支援をする。						
目的	活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。						
実施結果	ブリランテ夏のコンサート 7月3日(金)夜間 西新井文化ホール	1回	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	歓喜の演 Vol. 19 <合唱> 11月7日(土)午後 西新井文化ホール	1回	—				
	足立吹奏楽団 演奏会	2回	—				
	ブリランテ冬の mini コンサート 12月19日(土)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	265人	—	
	歓喜の演 Vol. 19 <狂言> 1月30日(土)午後 西新井文化ホール ※2部制、無観客(家族・関係者のみ)	1回	—	1回	67人	—	
事業評価と課題への対応	文化芸術活動に取り組む区民団体に助言等の支援を行った。引き続き、各団体の活動が円滑に継続できるよう支援する。						

【4】イベントコーディネーター事業		予算現額		—		円	
定款第4条第1項第3号		執行額		—		円	
(1)地域学習・団体活動支援		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成	
②文化団体等支援		随時		2件		— —	
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口						
目的	地域での主体的な文化芸術活動を支援する。						
実施結果	テレビ局から番組に出演する指揮者の相談があり、「足立ジュニア吹奏楽団」の指揮者を紹介した。(フジテレビ第一制作室)						
	藝大研究室によるアウトリーチコンサート「あの曲のなまおとプロジェクト(ピアノ、邦楽)」の相談があり、実施する小学校の紹介と実施内容の調整を行った。(東京藝術大大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻)						
事業評価と課題への対応	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、相談件数は昨年度より減少した(昨年度5件)。引き続き、依頼者のニーズに合ったコーディネートや助言等で支援する。						

【5】楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(通年) <<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (2)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団の支援	予算現額		4,230,000円				
	執行額		3,590,830円				
	年間予定回数/目標人数		実施結果		達成		
	98回	12,280人	31回	1,170人	△		
概要	足立ジュニア吹奏楽団の育成・活動の支援						
目的	① 生涯にわたり音楽活動に関わり、音楽を愛好する児童の育成を図る。 ② 楽団活動を通して足立区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。						
実施結果	1 定期練習						
	主に水曜日夜間、土曜日午後 島根小学校音楽室、西新井文化ホールなど ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～7月、1月、2月は活動休止。		75回	3,375人	26回	855人	—
	2 楽団活動						
	前年度卒団式 6月24日(水)夜間 西新井文化ホール ※新型コロナウイルス感染症の影響により、卒団員のみで開催		—	—	1回	14人	—
	夏合宿 8月16日(日)～18日(火) 日光林間学園		1回	75人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	楽団友の会総会 10月24日(土)午後 ギャラクシティ ※楽団友の会:団員の保護者等で組織し、楽団を運営する会		1回	30人	1回	20人	—
	入団式 11月25日(水)夜間 西新井文化ホール		1回	80人	1回	49人	—
	ブラスキッズ 1月～3月(土)午後 ギャラクシティ ※ブラスキッズ:楽団員と一緒に演奏の練習をする体験会(小学3年生対象)		4回	40人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	練習見学会 1月、2月 西新井文化ホール ※来年度の入団希望者向けの見学会		2回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	卒団式 3月21日(日)午後 西新井文化ホール		1回	60人	1回	32人	—
	3 自主演奏会						
	第31回定期演奏会 3月21日(日)午後 西新井文化ホール ※上記の他、8月サマーコンサート、12月クリスマスコンサート(アリオ西新井)など中止。		5回	1,700人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

実施結果	4 派遣演奏／イベント演奏				
	セブン&アイ・クリエイトリック Xmasリモート LIVE 12月24日(木)夜間 アリオ西新井 ・全国のアリオなど20店舗で、各地域の音楽団体による演奏の後、ゲストのハラミちゃん(ピアニスト)と全店舗の音楽団体がリモートで合奏するイベントに参加した。 ・上記の他、区民体育大会総合開会式(総合スポーツセンター)、ウルトラハロウィンキッズパレード(東京ドームシティ)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	8回	6,900人	1回	200人
事業評価と課題への対応	<p>1 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、練習の休止や演奏会・イベントの中止など十分な活動ができなかった。また、新入団員が6人と例年より少なく、退団した児童もいたため、団員数が昨年度の69人から54人に減少した。このような厳しい状況の中、時間や会場を分散しての練習、飛沫防止など対策を講じて活動を継続した。</p> <p>2 楽団及び楽団友の会が安定的に活動を継続できるように、練習計画の策定や会場の確保演奏会の調整や団員の募集などの運営事務を支援する。</p> <p>3 コロナ禍において、楽団が安全に活動できるよう、感染症対策について助言や支援を行う。</p>				

【6】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)		予算現額		324,000円	
定款第4条第1項第3号		執行額		0円	
(1)地域学習・団体活動支援		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
②文化団体等支援		4回	—	中止	—
概要	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の助成				
目的	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。				
実施結果	<p>8月 サマーコンサート in アリオ西新井</p> <p>12月 クリスマスコンサート in アリオ西新井</p> <p>3月 第31回定期演奏会 西新井文化ホール等</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p>				
事業評価と課題への対応	引き続き、楽団が安全に活動を継続できるように、派遣演奏の支援を行う。				



Xmasリモート LIVE



足立ジュニア吹奏楽団 卒団式

【7】コンサート in ミュージアム 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①文化イベント	予算現額		3,095,000 円	
	執行額		1,345,040 円	
	年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
	7回	350人	中止 (2施設の動画作成)	—
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサートや催し物			
目的	① 各施設の魅力とその特性を活かした良質のコンサートや催し物を区民に身近な場で提供する。 ② 5施設をつなぎコンサート等を実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。 ③ 各施設の主体的な事業運営を促すことにより、区民との協創関係を構築する。			
実施結果	わたなべ音楽堂<ベルネザール>	1回	50人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	石洞美術館	1回	50人	
六町ミュージアム・フローラ	1回	50人		
昭和の家<平田邸>	2回	100人		
BUoY	2回	100人		
	本事業の動画(施設紹介、コンサート風景など)を2本作成した。 ・「癒しと情熱のクラシカルサクソフォン」 わたなべ音楽堂<ベルネザール> 出演:鶴飼 奈民氏(サクソフォン)、浅利 真氏(サクソフォン)、田中 拓未氏(ピアノ) ・「春の訪れはフルーツとヴァイオリンの調べにのって」 昭和の家<平田邸> 出演:森岡 有裕子氏(フルーツ)、森岡 聡氏(ヴァイオリン)			
事業評価と課題への対応	1 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて各施設と協議し、有観客での開催は全て中止したが、区内の民間文化施設の魅力とコンサートの楽しさを伝える本事業を多くの人に視聴する機会を提供するため、2施設で動画作成を行った。 2 毎回、定員を超える応募があるため、来年度は公演数を増やす予定である。また、若年層の優先枠を設けるなど幅広い年齢層の参加の機会を提供していく。			

※当事業の予算及び執行額はP22の【7】に含む

【8】ドラムサークル in A-Festa 2020 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①文化イベント	年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
	3回	300人	中止	—
	概要 打楽器で即興演奏を行う参加型イベント			
目的	打楽器体験を通して、世代を超えた参加者間のコミュニケーションを図る。			
実施結果	10月10日(土) 午前・午後「A-Festa 2020」荒川河川敷 虹の広場 エキサイティングゾーンで予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、「A-Festa 2020」が中止となった。			

※当事業の予算及び執行額はP22の【7】に含む

【9】まちかどミュージック 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①文化イベント	年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
	2回	200人	中止	—
概要	多くの人々が行き交う会場で思いがけず生演奏に触れる機会			
目的	① 区民が文化芸術を身近なところで気軽に楽しめる機会を提供する。 ② コンサート体験を通じて、音楽の楽しさに気づき、区民の豊かな心を育む。			
実施結果	アリオ西新井等で予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。			

【10】小学校アウトリーチコンサート 定款第4条第1項第1号 (3)生涯学習啓発 ①アウトリーチコンサート	予算現額		2,959,000円			
	執行額		1,158,894円			
①アウトリーチコンサート	年間予定回数/目標人数		実施結果	達成		
	8校/24回	600人	3校/7回	194人	△	
概要	小学生の低学年を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート					
目的	① 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ② 低学年を対象とすることにより、生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。					
実施結果	花保小 1年生3クラス	3回	75人	3回	79人	—
	12月1日(火)午前 出演:塚越 慎子氏(マリンバ)、志村 和音氏(ピアノ)					
	中島根小 1年生2クラス	3回	75人	2回	48人	—
実施結果	2月17日(水)午前 出演:塚越 慎子氏(マリンバ)、須藤 千晴氏(ピアノ)					
	中川北小 1年生2クラス	3回	75人	2回	67人	—
実施結果	2月18日(木)午前 出演:塚越 慎子氏(マリンバ)、須藤 千晴氏(ピアノ)					
	事業評価と課題への対応	<p>1 学校と協議し、密にならない席配置や換気、飛沫のない楽器の使用や演者のマスク着用など感染症対策を徹底して実施した。</p> <p>2 楽しく迫力のある演奏の他、様々な打楽器の紹介や「それぞれの曲の感じ方は全てが正解」といったメッセージなど、子どもの頃に大切な「音を楽しむ」心を気づかせるような内容で、1年生を対象にしている。参加した子どもたちは、終始、笑顔で楽しみながら、真剣に耳を傾けていた。</p> <p>3 実施校数を昨年度の3校から8校に増やす計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で学校への入校や音楽に関する制約などがあり、3校での実施となった。来年度は、今年度の感染症対策のノウハウを活かして実施校の調整や準備を効率的に進め、多くの児童に体験の機会を提供していく。</p>				

※当事業の予算及び執行額はP23の【10】に含む

【11】子どもの未来応援アウトリーチコンサート		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号						
(3)生涯学習啓発		3回	100人	2回	46人	△
①アウトリーチコンサート						
概要	児童・保護者等を対象に、生演奏と演奏家とのコミュニケーションを図るコンサート					
目的	① 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ② 生涯にわたり音楽に親しみ豊かな人間性を育む機会の場を提供することにより、子どもの貧困対策にも資する。					
実施結果	母子生活支援施設 ポルテあすなろ	1回	30人	1回	23人	—
	1月6日(水)午後 出演:野尻 小矢佳氏(マリンバ)、磯田 日向子氏(パーカッション他) ※同施設で開かれた子ども食堂の参加者を含む					
実施結果	子育てサロン ハートアイランド新田	1回	30人	1回	23人	—
	3月18日(木)午前 出演:奥田 なな子氏(チェロ)					
事業評価と課題への対応	<p>1 各施設と協議し、対象者や会場の状況に合わせ、飛沫のない楽器の使用や演者のマスク着用など感染症対策を講じて実施した。</p> <p>2 演者は演奏を聴かせるだけでなく、ボールを突いた音をリズムにしたり、絵本を見せながら音を出したり、子どもたちが興味を持つような工夫が見られた。</p> <p>3 実施回数を昨年度の1回から3回に増やす計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各施設の状況により、2回の実施となった。また、両施設とも参加者のアンケートは概ね好評であったが、子どもが知っている曲を増やして欲しいという意見があった。</p> <p>4 来年度は、今年度の感染症対策のノウハウを活かして施設との調整や準備を効率的に進めるとともに、演者と相談して子どもたちがより一層親しみやすい演目を提供する。</p>					



小学校アウトリーチコンサート



子どもの未来応援アウトリーチコンサート

3 生涯学習・スポーツ事業

生涯学習・スポーツ事業	予算現額	973,000 円
	執行額	748,830 円

【1】あだちこどもサポーター養成講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予算現額	407,000 円				
	執行額	307,275 円				
	年間予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	4回	80人	3回	43人	○	
概要	子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座					
目的	① 地域人材を発掘・育成する。 ② 子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。					
実施 結果	放課後あそびサポーター講習会	1回	20人	1回	15人	—
	8月27日(木) 午前 生涯学習センター 講師:公社放課後子ども教室担当職員運動サポートチーム					
	読み語りのためのボイストレーニング講座	1回	20人	1回	12人	—
	《5日制》9月28日～11月2日(毎月) 午前 生涯学習センター 講師:山下 芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)					
	子どもと遊ぶおりがみ教室第13期	1回	20人	1回	16人	—
	《5日制》10月7日～11月4日(毎水) 午前 生涯学習センター 10月28日(水) 実習・午後 湊江第一小学校、千寿小学校 講師:西川 光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)					
読み語りのためのボイストレーニング 体験講座	計画外	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
1月17日(日) 午前 生涯学習センター 講師:山下 芳子氏(足立区演劇連盟、演出家) 申込み 60名(抽選) 定員 30名						
放課後読書支援サポーター講習会 ～子どもと本をつなぐ～	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
講師:公社職員(放課後+One 学び・読書部会)						
事業評価 と課題への 対応	<p>1 11月に終了した「読み語りのためのボイストレーニング講座」修了者から8人が読み語りキャラバン隊*への参加を希望した。</p> <p>2 当講座は、定員12名のところ、66名の申し込みがあり、追加で「読み語りのボイストレーニング体験講座」を実施した。体験講座も60名の申し込みとなったが、開催直前に緊急事態宣言が出たため、開催中止とした。</p> <p>3 「子どもと遊ぶおりがみ教室」は講座終了後、14名が活動を希望したが、緊急事態宣言により、活動を開始することができなかった。</p> <p>4 「読書支援サポーター講習会」は、子どもと本をつなぐ活動であり、放課後子ども教室でも図書室を使用している学校が殆どなかったため、今年度は開催を見送った。来年度は、コロナ感染症対策を念頭に置きながら、引き続き、子どもたちの体験・交流活動の機会が広がるよう、担い手となる人材を養成し、実践の場が提供できるよう調整を行う。</p>					

* 読み語りキャラバン隊:公社主催「読み語りのためのボイストレーニング講座」修了者有志により編成 (P33 参照)

※当事業の予算及び執行額はP25の【1】に含む

【2】あだち子どもサポータースキルアップ講座		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		4回	86人	4回	79人	◎
概要	子どもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座					
目的	① サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ② 子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。					
実施結果	おりがみサポーター（1年目）活動 フォロー講座 10月21日（水）午前 生涯学習センター 講師：西川 光恵氏（日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー）	1回	16人	1回	5人	—
	おりがみサポーターレベルアップ 講座《2日制》×2コース Aコース：11月11日～11月18日（毎水）午前 生涯学習センター（参加37人） Bコース：11月25日～12月2日（毎水）午前 生涯学習センター（参加34人） 講師：西川 光恵氏（日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー）	2回	60人	2回	71人	—
	読み語りのためのボイストレーニング スキルアップ講座 3月4日（木）午前 生涯学習センター 講師：山下 芳子氏（足立区演劇連盟、演出家）	1回	10人	1回	3人	—
	事業評価と課題への対応					
<p>1 サポーター活動に役立つ技術を学び、学んだ成果をすぐに活動に活かせる学習機会を提供し、活動の促進・継続化につながる支援となっている。</p> <p>2 「おりがみサポーターレベルアップ講座」は、サポーターの人数が100名以上になったため、昨年度から2コース制と分散して開催した。さらにコロナ禍という状況のため、コースを分け、三密を避けて行い、折った作品で遊べたり、ハサミやのりが無くても完成できる作品など、コロナ禍での活動を考慮しながら実施した。</p> <p>参加者からは「先生の指導法が勉強になりました」、「先生がお話してくれる児童心理もとてもためになっております」など、おりがみの折り方から、子どもの接し方についてまでの講座内容が好評のため、次年度も同様の設定で継続する。</p>						



おりがみサポーターレベルアップ講座

※当事業の予算及び執行額はP25の【1】に含む

【3】あだち子どもサポーターフォロー講座		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
定款第4条第1項第2号					
(1)地域学習活動人材育成		2回	60人	中止	—
①安全管理員等地域人材育成					
概要	子どもサポーター活動を継続するための意識啓発講座				
目的	① 活動のモチベーションの向上を図る。 ② ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に付ける研修機会を提供する。				
実施結果	サポーターフォロー講座 I	1回	30人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	サポーターフォロー講座 II	1回	30人		
事業評価と課題への対応	<p>1 子どもをサポートする「サポーター活動」について、スキルアップ及び活動の促進を図るため「サポーターフォロー講座」を実施している。今年度は、コロナの影響で「おりがみサポーター」「読書支援サポーター」「放課後あそびサポーター」全ての活動が中止だったため、本講座の開催も「中止」の判断をした。</p> <p>2 今後、子どもとの関わり方やボランティア活動で心得ておくべきことなどの講義だけでなく、サポーター同士の情報交換の場(活動上の悩みや工夫のシェアなど)の機能も有する講座として実施する。</p>				

※当事業の予算及び執行額はP25の【1】に含む

【4】あだち子どもサポーター活動支援		年間予定回数/目標人数		実施結果	達成
定款第4条第1項第2号					
(1)地域学習活動人材育成		235回	—	中止	—
①安全管理員等地域人材育成					
概要	子どもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ・保育園・高齢者施設等)				
目的	① サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ② サポーターの主体的活動への発展を目指す。				
実施結果	おりがみサポーターの活動の支援 (24校)	192回	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	読書支援サポーター活動の支援 (5校)	40回	—		
	読み語りキャラバン隊活動の支援 (自主公演)	3回	—		
事業評価と課題への対応	<p>1 養成講座修了した方を、放課後子ども教室「体験プログラム」でのボランティア活動へつなぎ、各実行委員会・スタッフとの連絡調整等の支援を行っているが、今年度は、コロナ感染拡大のため活動中止とした。</p> <p>2 読み語りキャラバン隊の自主活動も、声を出す活動であり、行く先々も、デイサービスや児童館などが多いため、今年度の活動を行うことは出来なかった。</p>				
	1 例年、活動のコーディネートにより、ボランティアの活躍の場を広げ活動継続への支援を行ってきている。今後も、おりがみサポーター、読書支援サポーターと、新規校拡充のため、各実行委員会へ働きかけ、サポーターの活動が継続・定着するよう支援する。				

※当事業の予算及び執行額はP25の【1】に含む

【5】あだち子どもサポーターネットワーク支援 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
		10回	170人	9回	172人	◎
概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等					
目的	① 活動者相互の情報交換・技術向上。 ② 自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。					
実施結果	おりがみサポーター交流会Ⅰ 7月1日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方	1回	40人	1回	68人	—
	読み語りキャラバン隊・自主練習会 7月～3月 随時 生涯学習センター 対象:読み語りキャラバン隊自主グループ	7回	70人	8回	104人	—
	おりがみサポーター交流会Ⅱ 1月20日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方 (参加予定者:73人)	1回	40人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
	読み語りキャラバン隊・活動連絡会 対象:今年度読み語りキャラバン隊 新規加入者・自主グループ	1回	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
事業評価と課題への対応	<p>1 「おりがみサポーター交流会」は、各校の取り組みや活動に活かせる工夫を相互に学び合い、活動へのモチベーションにつながる有意義な場となっている。アンケートから、「各サポーターさんと会うことが楽しみでモチベーションも上がる」「折り方を学ぶことも参考になるが、他校との情報交換がとても参考になる」等の感想が寄せられた。年々、サポーター数も増えるため、充実した交流会となるよう参加者の意見を反映しながら進める。</p> <p>2 読み語りキャラバン隊の活動定着を目指した自主練習会はコロナ禍でも定期的に感染予防対策を行いながら実施できた。自主おはなし会活動の方針を話し合う「活動連絡会」は今年度も中止となり、コロナ禍でのおはなし会のやり方や、新規メンバー加入の機会など、メンバー揃っての話し合いが滞っている。その都度、情報共有しながらさまざまな案を提案し、新年度のキャラバン隊活動が活発になるよう支援する。</p>					



おりがみサポーター交流会Ⅰ

【6】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング～ (高齢者) 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他	予算現額		234,000 円			
	執行額		203,605 円			
	年間予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	4回	120人	4回	85人	◎	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	① 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ② 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。					
実施結果	シニア(65歳～70歳代)指導 基礎理論編 11月14日(土) 午前 千寿本町小学校 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)	1回	30人	1回	24人	—
	シニア(65歳～70歳代)指導 実践指導編 【パークで筋トレ】の体験講習含む 11月14日(土) 午後 千寿本町小学校 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 門脇 美乃里氏(足立区公認スポーツサポーター)	1回	30人	1回	23人	—
	高齢者(75歳以上)指導 基礎理論編 2月23日(火祝) 午前 生涯学習センター 講師:村上 憲治氏(帝京科学大学教授、理学療法士(認定スポーツ理学療法))	1回	30人	1回	19人	—
	高齢者(75歳以上)指導 実践指導編 【パークで筋トレ】の体験講習含む 2月23日(火祝) 午後 生涯学習センター 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 門脇 美乃里氏(足立区公認スポーツサポーター)	1回	30人	1回	19人	—
事業評価と課題への対応	1 高齢者指導編では、高齢期の身体特性やフレイル予防の重要性について、より深い内容が学べるよう、帝京科学大学教授また理学療法士でもある講師に講義を依頼し、運動指導の実践力アップを図った。 2 区介護予防事業「パークで筋トレ」の体験を組み込み、指導のポイント等を共有した上で事業協力の呼びかけを行い、1名を区スポーツ振興課へつないだ。引き続き、育成した地域人材が活躍の場面につながるよう取り組む。					

【7】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング～ (子ども) 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
		4回	120人	4回	64人	◎
概要	子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	① 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ② 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。					
実施結果	小学生の運動あそび 基礎理論編	1回	30人	1回	20人	—
	9月26日(土) 午前 生涯学習センター 講師:小林 宜義(日本スポーツ協会公認コーチ、小田原短期大学保育学科特任助教)					
	小学生の運動あそび 実践指導編	1回	30人	1回	20人	—
	9月26日(土) 午後 生涯学習センター 講師:小林 宜義(日本スポーツ協会公認コーチ、小田原短期大学保育学科特任助教)					
実施結果	子どもの運動あそび 基礎理論編	1回	30人	1回	12人	—
	2月6日(土) 午前 生涯学習センター 講師:篠原 俊明(東京未来大学子ども心理学部講師)					
実施結果	子どもの運動あそび 実技指導編	1回	30人	1回	12人	—
	2月6日(土) 午前 生涯学習センター 講師:篠原 俊明(東京未来大学子ども心理学部講師)					
事業評価と課題への対応	<p>1 子どもの体力低下の課題に対応するため、意図的に体の使い方を習得させる運動あそびを推奨する指導者講習会を開催した。コロナ感染予防をしながら実技を開催。受講された方からは、この機会に、三密を防ぎながら楽しくできる運動あそびを学ぶことができたことご意見を頂いた。</p> <p>2 小学生編では、発達に課題のある児童への指導ポイントを学ぶカリキュラムも含んだ内容で講義いただいた。参加者からは、「支援の必要な子が増えてきているため、対応の仕方や声かけの仕方なども含め勉強できたので良かった」などの意見を頂いた。今後も、子どもの体力の現状を把握しながら、必要な指導法を提供する。</p> <p>3 公認スポーツ指導員の資格更新2単位取得のために受講した方が大半であり、開催する意義は大きい。</p>					

【8】健康づくり・スポーツ活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援	予算現額	207,000 円				
	執行額	190,053 円				
	年間予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	2回	60人	2回	90人	◎	
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座					
目的	① 生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 ② スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。					
実施結果	スポーツコンディショニング講座 ～痛みの出にくい身体づくり～ 11月27日(金) 午前 生涯学習センター 講師: 八田 倫子氏 (NPO法人スポーツセーフティージャパン副理事)	1回	30人	1回	54人	—
	あだちウェルネスカレッジ ～歩行を支える安定した体幹を学ぼう!～ 2月20日(土) 午前 生涯学習センター 講師: 宮下 智氏 (帝京科学大学・大学院教授)	1回	30人	1回	36人	—
事業評価と課題への対応	1 「スポーツコンディショニング講座」は、どのスポーツ種目にも参考になる内容として「体幹」をテーマに開催した。受講者は、40～60代の方が多く、競技スポーツより、生涯スポーツに取り組んでいる方の参加が多かったと考えられる。コロナ禍の状況だったため、通常よりも時間を短縮し、実技なしで開催した。今後も実践に活かせる最新スポーツ科学情報の提供を目指していく。 2 「あだちウェルネスカレッジ」は、新たに「帝京科学大学」の教授に講師を依頼した。大学としても地域に還元したい考えも強く持っていたので、今後も、区民の方々に提供できるものがあれば協力していきたいとの声を頂いた。今回は126人の申し込みがあり、コロナ感染予防対策のため、定員を30名から45名に変更して開催した。今後、より多くの方に参加していただけるよう大きな会場での開催を検討する。					



あだちウェルネスカレッジ

※当事業の予算及び執行額はP31の【8】に含む

【9】地域活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
		2回	60人	3回	70人	◎
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座					
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。					
実施結果	子ども学講座 I (子どものことを考える大人の勉強会) ～心のサインに気づくために～ 《2日制》11月6日(金)・20日(金) 午前 生涯学習センター 講師:須田 誠氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1回	30人	2回	44人	—
	子ども学講座 II (子どものことを考える大人の勉強会) ～子どものやる気を高めるコミュニケーション術～ 3月2日(火) 午前 生涯学習センター 講師:磯 友輝子氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1回	30人	1回	26人	—
事業評価と課題への対応	<p>1 地域活動等で子どもと関わっている方々を対象に、子どもの発達段階や心理を理解し、課題となる状況の解決のヒントとなるようテーマを設定し開催している。講座では、ワークショップを取り入れ、子どもと接する中で感じる悩みや疑問を話し合い、共感し、アドバイスし合うことにより相互に学び合う機会も創出している。アンケートから「子どもが求めるコミュニケーション、良い聴き手になることが大切だと知りました」「子どもに話すときは、否定言葉は使わない。自分で選んで自分で決める」などの感想が多く寄せられた。</p> <p>2 両講座とも、定員以上の申し込みがあり、毎年、多くの方から講座開催へのご要望をいただいている。今後も区内大学の先生を主に講師として招き、引き続き開催する。</p>					

※当事業の予算及び執行額はP31の【8】に含む

【10】地域学習コーディネート事業 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
		随時	—	1件	—	—
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口					
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。					
実施結果	竹の塚保健総合センターサークル(金本氏)運動種目や指導員の相談 1件					
事業評価と課題への対応	主催者の事業趣旨を丁寧にヒヤリングし、内容や講師、企画についてのアドバイスや内容・講師の提案等を行った。引き続き、効果的な学習活動につながる支援を目指して、企画提案を行う。					

【11】読み語りキャラバン隊によるおはなし会 定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等	予算現額		125,000 円			
	執行額		47,897 円			
	年間予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	5回	250人	2回	43人	△	
概要	地域の施設を巡回し、子どもや親子に読書に親しんでもらう機会を提供するイベント型おはなし会					
目的	① 本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ② 親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。					
実施結果	11月2日(月) 午後 会場:学びピア 講堂	1回	50人	1回	21人	—
	3月11日(木) 午後 会場:学びピア 講堂	1回	50人	1回	22人	—
事業評価と課題への対応	<p>1 今年度は、コロナ感染予防対策として、参加者が、一斉に考える・笑う・声を出すなどの同調の機会を盛り込んだ体験型で開催できず、お話しや言葉への興味につなげるための大型絵本の読み語りや、パネルシアター、手遊びなどを中心に行い、幼児から高齢の方まで楽しんでいただいた。</p> <p>2 読み語りキャラバン隊は、養成講座で学んだ区民が読み語り実践者として活躍できるしくみの一環でもあり、学びを深めながら広げる活動として、今後も事業を継続する。</p> <p>3 キャラバンの仲間や観客のみなさんと、読み語りを通じて一体感を体験できる大切な機会となるため、コロナ禍でも出来る限り、同じ空間で実践できるよう調整し、活動が滞ることが無いよう、動画の配信も視野に入れながら開催する。</p>					



読み語りキャラバン隊によるおはなし会

4 広報事業

広報事業	予算現額	9,098,000 円
	執行額	7,417,696 円

【1】公社ニュース「トキメキ」での自主事業等 情報発信 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		6,518,776 円		
	発行回数/掲載記事数		実施結果		達成
	12回	—	10回	40件	○
概要	公社自主事業や「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報を掲載。(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉サービスセンター、年12回、全戸配布)				
目的	公社事業を広く区民に周知する。				
実施結果	毎月1日発行、区内全戸配布(月33万部発行) 5月号、6月号は区が新型コロナウイルス対策特集を組んだため、公社情報は不掲載となり7月号より事業の情報を掲載した。 (内訳)放課後子ども教室 9件(9月号1面掲載あり)、学習・スポーツ事業 15件 文化事業 10件(4月号、2月号1面掲載あり)、 その他(Facebook紹介、放送大学学生募集、非常勤募集) 6件				
事業評価と今後への対応	5月号、6月号は新型コロナウイルス感染対策記事掲載のため、公社情報は掲載しなかった。その後は、自主事業、受託事業とも広報計画どおりに掲載した。公社事業の認知度を上げる紙面構成を目指していく。				

【2】公社ホームページによる情報提供事業 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		898,920 円		
	年間予定回数/目標人数		実施結果		達成
	通年	—	通年	—	—
概要	公社概要や事業案内などの情報提供を行う。				
目的	公社事業への興味関心を高める。				
実施結果	1 最新情報に更新した。 (内容)トキメキ掲載の事業案内、講座等の実施案内、放課後子ども教室再開状況、令和元年度財務諸表・事業報告、令和3年度予算・事業計画、公社中期事業計画、会社概要等 2 Facebookへの投稿「講座レポート」37回 3 申し込みフォーム運用 4 アクセス数 月平均1,753回(昨年度1,492回) 総計21,036回(昨年度17,900回)				
事業評価と今後への対応	昨年度から導入した申し込みフォームは、募集する講座全てに適用した。また、Facebookは、講座レポートを随時掲載することにより定着を図った。 今後は、動画等の掲載に対応した画面構成の改修、掲載内容の充実と最新情報の提供を進めアクセス数のアップを目指していく。				

5 その他

公益目的事業に対する人件費

公益目的事業に対する人件費	予算現額	266,679,000 円
	執行額	241,953,949 円

【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系 1~4	執行額	241,953,949 円
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費	
実施 結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(91%)した。	

その他前号に定める事業に関連する事業

その他前号に定める事業に関連する事業	予算現額	51,359,000 円
	執行額	45,129,185 円

【2】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】	執行額	45,129,185 円
概要	理事会や評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等	
実施 結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公社管理運営費及び法人運営に係る人件費を按分(9%)した。 令和2年度の理事会、評議員会は、新型コロナウイルス対策のため、決議の省略(みなし決議)による開催とした。	

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

令和 2 年度事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724

うぐいす色

令和 2 年度

財務諸表

貸借対照表

正味財産増減計算書

キャッシュ・フロー計算書

附属明細書

財産目録



貸借対照表

令和03年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	<1> 79,252	101,943	▲ 22,691
普通預金	<2> 196,852,753	130,547,444	66,305,309
定期預金	<3> 107,152,954	100,000,000	7,152,954
現金預金合計	<4> 304,084,959	230,649,387	73,435,572
(2) その他流動資産			
未収金	<5> 37,173	321,418	▲ 284,245
前払金	<6> 195,650	234,800	▲ 39,150
その他流動資産合計	<7> 232,823	556,218	▲ 323,395
流動資産合計	<8> 304,317,782	231,205,605	73,112,177
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	<9> 500,020,000	400,050,000	99,970,000
投資有価証券	<10> 999,980,000	1,099,950,000	▲ 99,970,000
基本財産合計	<11> 1,500,000,000	1,500,000,000	0
(2) 特定資産			
職員退職手当積立金	<12> 162,847,046	187,740,017	▲ 24,892,971
特定資産合計	<13> 162,847,046	187,740,017	▲ 24,892,971
(3) その他固定資産			
事業運営賠償準備資産	<14> 100,000,000	100,000,000	0
リース資産	<15> 15,501,456	20,668,608	▲ 5,167,152
その他固定資産合計	<16> 115,501,456	120,668,608	▲ 5,167,152
固定資産合計	<17> 1,778,348,502	1,808,408,625	▲ 30,060,123
資産合計	<18> 2,082,666,284	2,039,614,230	43,052,054
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	<19> 136,092,116	59,475,057	76,617,059
預り金	<20> 2,330,998	2,781,845	▲ 450,847
賞与引当金	<21> 11,105,032	10,424,806	680,226
短期リース債務	<22> 5,167,152	5,167,152	0
流動負債合計	<23> 154,695,298	77,848,860	76,846,438
2 固定負債			
長期リース債務	<24> 10,334,304	15,501,456	▲ 5,167,152
退職給付引当金	<25> 162,847,046	187,740,017	▲ 24,892,971
固定負債合計	<26> 173,181,350	203,241,473	▲ 30,060,123
負債合計	<27> 327,876,648	281,090,333	46,786,315
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基本財産	<28> 1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産合計	<29> 1,500,000,000	1,500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	<30> (1,500,000,000)	(1,500,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	<31> 254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261
一般正味財産合計	<32> 254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261
正味財産合計	<33> 1,754,789,636	1,758,523,897	▲ 3,734,261
負債及び正味財産合計	<34> 2,082,666,284	2,039,614,230	43,052,054

貸借対照表内訳表

令和03年03月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金 <1>	70,926	8,326	79,252
普通預金 <2>	121,056,069	75,796,684	196,852,753
定期預金 <3>	55,876,352	51,276,602	107,152,954
現金預金合計 <4>	177,003,347	127,081,612	304,084,959
(2) その他流動資産			
未収金 <5>	35,673	1,500	37,173
前払金 <6>	10,850	184,800	195,650
その他流動資産合計 <7>	46,523	186,300	232,823
流動資産合計 <8>	177,049,870	127,267,912	304,317,782
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 <9>	500,020,000	0	500,020,000
投資有価証券 <10>	999,980,000	0	999,980,000
基本財産合計 <11>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
(2) 特定資産			
職員退職手当積立金 <12>	134,123,648	28,723,398	162,847,046
特定資産合計 <13>	134,123,648	28,723,398	162,847,046
(3) その他固定資産			
事業運営賠償準備資産 <14>	0	100,000,000	100,000,000
リース資産 <15>	0	15,501,456	15,501,456
その他固定資産合計 <16>	0	115,501,456	115,501,456
固定資産合計 <17>	1,634,123,648	144,224,854	1,778,348,502
資産合計 <18>	1,811,173,518	271,492,766	2,082,666,284
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 <19>	127,381,089	8,711,027	136,092,116
預り金 <20>	288,070	2,042,928	2,330,998
賞与引当金 <21>	10,105,577	999,455	11,105,032
短期リース債務 <22>	0	5,167,152	5,167,152
流動負債合計 <23>	137,774,736	16,920,562	154,695,298
2 固定負債			
長期リース債務 <24>	0	10,334,304	10,334,304
退職給付引当金 <25>	134,123,648	28,723,398	162,847,046
固定負債合計 <26>	134,123,648	39,057,702	173,181,350
負債合計 <27>	271,898,384	55,978,264	327,876,648
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基本財産 <28>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
指定正味財産合計 <29>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
(うち基本財産への充当額) <30>	(1,500,000,000)	(0)	(1,500,000,000)
2 一般正味財産			
一般正味財産 <31>	39,275,134	215,514,502	254,789,636
一般正味財産合計 <32>	39,275,134	215,514,502	254,789,636
正味財産合計 <33>	1,539,275,134	215,514,502	1,754,789,636
負債及び正味財産合計 <34>	1,811,173,518	271,492,766	2,082,666,284

正味財産増減計算書

令和02年04月01日から 令和03年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息 <1>	9,128,413	10,897,651	▲ 1,769,238
基本財産運用益計 <2>	9,128,413	10,897,651	▲ 1,769,238
特定資産運用益			
特定資産受取利息 <3>	748,605	726,378	22,227
特定資産運用益計 <4>	748,605	726,378	22,227
その他の固定資産運用益			
その他固定資産受取利息 <5>	60,493	60,000	493
その他の固定資産運用益計 <6>	60,493	60,000	493
事業収益			
受託事業収益 <7>	127,820,588	211,793,197	▲ 83,972,609
事業収益計 <8>	127,820,588	211,793,197	▲ 83,972,609
受取補助金等収益			
受取区補助金 <9>	285,949,232	297,834,286	▲ 11,885,054
受取補助金等収益計 <10>	285,949,232	297,834,286	▲ 11,885,054
雑収益			
受取利息 <11>	57,448	200,000	▲ 142,552
雑収益 <12>	35,673	146,082	▲ 110,409
雑収益計 <13>	93,121	346,082	▲ 252,961
経常収益計 <14>	423,800,452	521,657,594	▲ 97,857,142
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬 <15>	3,741,605	3,258,397	483,208
給料手当 <16>	151,828,330	165,538,591	▲ 13,710,261
福利厚生費 <17>	37,461,670	39,783,115	▲ 2,321,445
退職給付費用 <18>	16,278,294	16,664,240	▲ 385,946
賃金 <19>	32,130,643	26,454,185	5,676,458
会議費 <20>	26,942	52,090	▲ 25,148
旅費交通費 <21>	128,110	250,628	▲ 122,518
通信運搬費 <22>	811,561	1,144,348	▲ 332,787
什器備品費 <23>	108,900	98,340	10,560
消耗品費 <24>	7,326,079	6,495,966	830,113
修繕費 <25>	308,066	141,990	166,076
印刷製本費 <26>	734,580	165,440	569,140
賃借料 <27>	790,676	634,043	156,633
保険料 <28>	1,512,060	1,657,910	▲ 145,850
諸謝金 <29>	110,584,188	202,615,490	▲ 92,031,302
委託費 <30>	10,137,760	9,283,220	854,540
負担金 <31>	115,700	0	115,700
交付金 <32>	8,380,364	5,463,263	2,917,101
事業費計 <33>	382,405,528	479,701,256	▲ 97,295,728

正味財産増減計算書

令和02年04月01日から 令和03年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬 <34>	384,064	847,271	▲ 463,207
給料手当 <35>	15,015,765	16,372,300	▲ 1,356,535
福利厚生費 <36>	4,440,368	4,686,790	▲ 246,422
退職給付費用 <37>	1,564,092	1,587,980	▲ 23,888
賃金 <38>	3,177,781	2,616,357	561,424
会議費 <39>	0	1,840	▲ 1,840
旅費交通費 <40>	42,604	50,123	▲ 7,519
通信運搬費 <41>	2,183,224	1,938,241	244,983
什器備品費 <42>	183,480	67,980	115,500
消耗品費 <43>	866,351	943,827	▲ 77,476
修繕費 <44>	13,100	111,608	▲ 98,508
光熱水費 <45>	2,064,706	2,504,798	▲ 440,092
賃借料 <46>	2,456,562	2,099,712	356,850
減価償却費 <47>	5,167,152	5,167,152	0
保険料 <48>	243,340	243,600	▲ 260
租税公課 <49>	33,005	30,005	3,000
諸謝金 <50>	1,385,500	1,404,500	▲ 19,000
委託費 <51>	5,590,839	5,528,307	62,532
負担金 <52>	191,400	219,440	▲ 28,040
交際費 <53>	0	17,000	▲ 17,000
燃料費 <54>	125,852	172,677	▲ 46,825
管理費計 <55>	45,129,185	46,611,508	▲ 1,482,323
経常費用計 <56>	427,534,713	526,312,764	▲ 98,778,051
評価損益等調整前当期経常増減額 <57>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
評価損益等計 <58>	0	0	0
当期経常増減額 <59>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 <60>	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計 <61>	0	0	0
当期経常外増減額 <62>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <63>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
当期一般正味財産増減額 <64>	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
一般正味財産期首残高 <65>	258,523,897	263,179,067	▲ 4,655,170
一般正味財産期末残高 <66>	254,789,636	258,523,897	▲ 3,734,261
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額 <67>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <68>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
指定正味財産期末残高 <69>	1,500,000,000	1,500,000,000	0
III 正味財産期末残高 <70>	1,754,789,636	1,758,523,897	▲ 3,734,261

正味財産増減計算書内訳表

令和02年04月01日から 令和03年03月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息 <1>	9,128,413	0	9,128,413
基本財産運用益計 <2>	9,128,413	0	9,128,413
特定資産運用益			
特定資産受取利息 <3>	722,953	25,652	748,605
特定資産運用益計 <4>	722,953	25,652	748,605
その他の固定資産運用益			
その他固定資産受取利息 <5>	0	60,493	60,493
その他の固定資産運用益計 <6>	0	60,493	60,493
事業収益			
受託事業収益 <7>	127,820,588	0	127,820,588
事業収益計 <8>	127,820,588	0	127,820,588
受取補助金等収益			
受取区補助金 <9>	240,845,699	45,103,533	285,949,232
受取補助金等収益計 <10>	240,845,699	45,103,533	285,949,232
雑収益			
受取利息 <11>	35,197	22,251	57,448
雑収益 <12>	35,673	0	35,673
雑収益計 <13>	70,870	22,251	93,121
経常収益計 <14>	378,588,523	45,211,929	423,800,452
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬 <15>	3,741,605	0	3,741,605
給料手当 <16>	151,828,330	0	151,828,330
福利厚生費 <17>	37,461,670	0	37,461,670
退職給付費用 <18>	16,278,294	0	16,278,294
賃金 <19>	32,130,643	0	32,130,643
会議費 <20>	26,942	0	26,942
旅費交通費 <21>	128,110	0	128,110
通信運搬費 <22>	811,561	0	811,561
什器備品費 <23>	108,900	0	108,900
消耗品費 <24>	7,326,079	0	7,326,079
修繕費 <25>	308,066	0	308,066
印刷製本費 <26>	734,580	0	734,580
賃借料 <27>	790,676	0	790,676
保険料 <28>	1,512,060	0	1,512,060
諸謝金 <29>	110,584,188	0	110,584,188
委託費 <30>	10,137,760	0	10,137,760
負担金 <31>	115,700	0	115,700
交付金 <32>	8,380,364	0	8,380,364
事業費計 <33>	382,405,528	0	382,405,528
管理費			
役員報酬 <34>	0	384,064	384,064
給料手当 <35>	0	15,015,765	15,015,765
福利厚生費 <36>	0	4,440,368	4,440,368
退職給付費用 <37>	0	1,564,092	1,564,092
賃金 <38>	0	3,177,781	3,177,781
旅費交通費 <39>	0	42,604	42,604
通信運搬費 <40>	0	2,183,224	2,183,224
什器備品費 <41>	0	183,480	183,480
消耗品費 <42>	0	866,351	866,351
修繕費 <43>	0	13,100	13,100
光熱水費 <44>	0	2,064,706	2,064,706
賃借料 <45>	0	2,456,562	2,456,562
減価償却費 <46>	0	5,167,152	5,167,152
保険料 <47>	0	243,340	243,340
租税公課 <48>	0	33,005	33,005
諸謝金 <49>	0	1,385,500	1,385,500
委託費 <50>	0	5,590,839	5,590,839
負担金 <51>	0	191,400	191,400
燃料費 <52>	0	125,852	125,852
管理費計 <53>	0	45,129,185	45,129,185
経常費用計 <54>	382,405,528	45,129,185	427,534,713
評価損益等調整前当期経常増減額 <55>	▲ 3,817,005	82,744	▲ 3,734,261
評価損益等計 <56>	0	0	0
当期経常増減額 <57>	▲ 3,817,005	82,744	▲ 3,734,261
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 <58>	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計 <59>	0	0	0
当期経常外増減額 <60>	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額 <61>	▲ 3,817,005	82,744	▲ 3,734,261
当期一般正味財産増減額 <62>	▲ 3,817,005	82,744	▲ 3,734,261
一般正味財産期首残高 <63>	43,092,139	215,431,758	258,523,897
一般正味財産期末残高 <64>	39,275,134	215,514,502	254,789,636
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額 <65>	0	0	0
指定正味財産期首残高 <66>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
指定正味財産期末残高 <67>	1,500,000,000	0	1,500,000,000
III 正味財産期末残高 <68>	1,539,275,134	215,514,502	1,754,789,636

キャッシュ・フロー計算書

令和02年04月01日から 令和03年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前当期一般正味財産増減額	▲ 3,734,261	▲ 4,655,170	920,909
2 キャッシュ・フローへの調整額			
前払金の増減額	39,150	▲ 42,560	81,710
未収金の増減額	284,245	4,253,482	▲ 3,969,237
未払金の増減額	76,617,059	8,589,888	68,027,171
未払消費税等の増減額	0	▲ 68,600	68,600
預り金の増減額	▲ 450,847	▲ 2,167,205	1,716,358
賞与引当金の増減額	680,226	▲ 687,267	1,367,493
退職給付引当金の増減額	▲ 24,892,971	307,497	▲ 25,200,468
減価償却費	5,167,152	5,167,152	0
小 計	57,444,014	15,352,387	42,091,627
事業活動によるキャッシュ・フロー	53,709,753	10,697,217	43,012,536
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
基本財産			
基本財産満期償還による収入	600,000,000	300,000,000	300,000,000
基本財産計	600,000,000	300,000,000	300,000,000
特定資産			
職員退職手当積立金取崩収入	36,255,357	10,384,723	25,870,634
特定資産計	36,255,357	10,384,723	25,870,634
その他の固定資産			
事業運営賠償準備資産預け替え収入	100,000,000	100,000,000	0
その他の固定資産計	100,000,000	100,000,000	0
投資活動収入計	736,255,357	410,384,723	325,870,634
2 投資活動支出			
基本財産			
基本財産預入による支出	▲ 600,000,000	▲ 300,000,000	▲ 300,000,000
基本財産計	▲ 600,000,000	▲ 300,000,000	▲ 300,000,000
特定資産取得支出			
職員退職手当積立金支出	▲ 11,362,386	▲ 10,692,220	▲ 670,166
特定資産取得支出計	▲ 11,362,386	▲ 10,692,220	▲ 670,166
固定資産取得支出			
事業運営賠償準備資産積立金支出	▲ 100,000,000	▲ 100,000,000	0
固定資産取得支出計	▲ 100,000,000	▲ 100,000,000	0
投資活動支出計	▲ 711,362,386	▲ 410,692,220	▲ 300,670,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,892,971	▲ 307,497	25,200,468
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出	▲ 5,167,152	▲ 5,167,152	0
財務活動支出計	▲ 5,167,152	▲ 5,167,152	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,167,152	▲ 5,167,152	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	73,435,572	5,222,568	68,213,004
VI 現金及び現金同等物の期首残高	230,649,387	225,426,819	5,222,568
VII 現金及び現金同等物の期末残高	304,084,959	230,649,387	73,435,572

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 平成21年10月1日から、公益法人会計基準(内閣府公益認定等委員会平成20年4月11日)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は購入時の取得価額による。なお、償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)を保有している場合は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ・ 賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ・ 退職給付引当金・・・職員の退職手当の支給に備えるため、相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
 - ・ リース会計基準適用初年度開始(平成20年4月1日)以降のリース総額300万円を超える所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
 - ・ 上記以外の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (7) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 - ・ 資金の範囲には、現金及び流動性のある預金、有価証券を含めている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	400,050,000	99,970,000	0	500,020,000
投資有価証券	1,099,950,000	0	99,970,000	999,980,000
小 計	1,500,000,000	99,970,000	99,970,000	1,500,000,000
特定資産				
職員退職手当積立金	187,740,017	11,362,386	36,255,357	162,847,046
小 計	187,740,017	11,362,386	36,255,357	162,847,046
合 計	1,687,740,017	111,332,386	136,225,357	1,662,847,046

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	500,020,000	(500,020,000)	—	—
投資有価証券	999,980,000	(999,980,000)	—	—
小 計	1,500,000,000	(1,500,000,000)	—	—
特定資産				
職員退職手当積立金	162,847,046	—	—	(162,847,046)
小 計	162,847,046	—	—	(162,847,046)
合 計	1,662,847,046	(1,500,000,000)		(162,847,046)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘柄	帳簿価額	時 価 (R3.3.31現在)	評価損益
第158回福岡北九州高速道路債券	100,000,000	99,410,300	▲ 589,700
第78回東日本高速道路株式会社社債	100,000,000	99,328,800	▲ 671,200
第30回西日本高速道路株式会社社債	100,000,000	100,409,000	409,000
第4回千葉県公募公債	100,000,000	102,529,700	2,529,700
第738回東京都公募公債	100,000,000	101,527,100	1,527,100
京王電鉄株式会社第33回社債	100,000,000	101,433,400	1,433,400
新関西国際空港株式会社第3回社債	100,000,000	101,372,000	1,372,000
第87回東日本旅客鉄道株式会社社債	100,000,000	101,262,600	1,262,600
第47回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債	100,000,000	100,831,200	831,200
第105回共同発行市場公募地方債	99,980,000	100,768,700	788,700
合 計	999,980,000	1,008,872,800	8,892,800

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
人件費補助	足立区	0	7,103,191	7,103,191	0	-
公社管理運営補助		0	278,846,041	278,846,041	0	
合 計		0	285,949,232	285,949,232	0	

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載している。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	187,740,017	11,362,386	36,255,357	0	162,847,046
賞与引当金	10,424,806	11,105,032	10,424,806	0	11,105,032
引当金計	198,164,823	22,467,418	46,680,163	0	173,952,078

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管		79,252
	普通預金	普通預金 小計	運転資金として保有している	196,852,753
		みずほ銀行千住支店		176,342,446
		足立成和信用金庫本店		1,923,543
		城北信用金庫足立支店		18,566,964
大阪厚生信用金庫	2,800			
きらぼし銀行	2,200			
大阪商工信用金庫	4,800			
東京東信用金庫	10,000			
定期預金	定期預金 小計		107,152,954	
	東京東信用金庫		7,152,954	
	きらぼし銀行		100,000,000	
現金預金合計				304,084,959
その他流動資産	未収金	消費税還付金等	別紙「財産目録内訳書」のとおり	37,173
	前払金	前払金 小計	別紙「財産目録内訳書」のとおり	195,650
		保険料		10,850
	通信運搬費		184,800	
その他流動資産合計				232,823
流動資産合計				304,317,782
(固定資産) 基本財産	定期預金	定期預金 小計	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に充てるために保有している財産である	500,020,000
		足立成和信用金庫本店		100,000,000
		城北信用金庫足立支店		20,000
		大阪厚生信用金庫		100,000,000
		オリックス銀行		100,000,000
		東京シティ信用金庫		100,000,000
	大阪商工信用金庫	100,000,000		
	投資有価証券	地方債・事業債等 小計		999,980,000
		第158回福岡北九州高速道路債券		100,000,000
		第78回東日本高速道路(株)社債		100,000,000
		第30回西日本高速道路(株)社債		100,000,000
		第4回千葉県公募公債		100,000,000
		第738回東京都公募公債		100,000,000
京王電鉄(株)第33回社債			100,000,000	
新関西国際空港(株)第3回社債		100,000,000		
第87回東日本旅客鉄道(株)社債		100,000,000		
第47回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債		100,000,000		
第105回共同発行市場公募地方債		99,980,000		
基本財産合計				1,500,000,000
特定資産	職員退職手当積立金	職員退職手当積立金 小計	職員の退職金の支払いに備えたもの	162,847,046
		定期預金		62,847,046
		東京東信用金庫		100,000,000
	有価証券		100,000,000	
	SMBC日興証券		100,000,000	
特定資産合計				162,847,046
その他固定資産	事業運営賠償準備資産	事業運営賠償準備資産 小計	事業運営にかかる事故発生時の賠償金等に充てるために保有している財産	100,000,000
		定期預金		100,000,000
		亀有信用金庫		100,000,000
	リース資産	コンピュータ機器等	業務用端末等のリースによるもの	15,501,456
その他固定資産合計				115,501,456
固定資産合計				1,778,348,502
資産合計				2,082,666,284
(流動負債)	未払金 預り金 賞与引当金 短期リース債務	足立区への返還金等	別紙「財産目録内訳書」のとおり	136,092,116
		職員給与にかかる税等	別紙「財産目録内訳書」のとおり	2,330,998
		職員に対するもの	職員の賞与の支払いに備えたもの	11,105,032
		コンピュータ機器等	リース資産に対する債務で支払期限が1年以内のもの	5,167,152
	流動負債合計			
(固定負債)	長期リース債務	コンピュータ機器等	リース資産に対する債務で支払期限が1年を超えるもの	10,334,304
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの	162,847,046
	固定負債合計			
負債合計				327,876,648
正味財産				1,754,789,636

公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

財 産 目 録 内 訳 書

令和3年3月31日現在

【未収金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
消費税還付金	35,673
福利厚生費還付金(サービスセンターゆう会費退職者分)	1,500
合 計	37,173

【前払金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
保険料(令和3年度分)	10,850
通信運搬費(令和3年度分)	184,800
合 計	195,650

【未払金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
第6期公社システム経費等業者払い(31件)	5,281,459
足立区返還金(補助金)	30,856,768
足立区返還金(委託料)	669,565
足立区返還金(放課後事業委託料)	2,144,767
足立区返還金(放課後事業協定分)	83,241,811
職員給与	1,045,096
講師等謝礼(3月実績)	746,500
通信運搬費(電話料金他)	67,736
放課後子ども教室安全管理員謝礼(3月実績)	9,678,170
社会保険料事業主負担金	2,360,244
合 計	136,092,116

【預り金の内訳】 (単位:円)

件 名	金 額
所得税(放課後子ども教室安全管理員分)	274,985
所得税(職員・講師分)	701,063
住民税(職員分)	852,600
社会保険料(職員負担分)	502,350
合 計	2,330,998